

委員長にも

援助を陳情

水俣病訴訟派

水俣病患者家庭互助会の訴訟派（渡辺栄蔵代表、二十九世帯）提訴に当たっては二世帯を一世帯にし二十八世帯）が十六日午前十時半から開かれた水俣市議会公害対策特別委員会に先立って市内浜町の淵上末記公害対策特別委員長の自宅に押しかけ、「訴訟派に二百万円の援助をするよう市に働きかけてほしい」と陳情した。

これに対し淵上委員長は、「水俣病補償処理委員会の費用四百八十万円は、国があとで返すという約束で市が立て替えた。市の予算の組み方は法律その他で規制されるもので簡単に町の金貸しのようにはいかないだろう」と答えた。

訴訟派は「しかしわたしたちがあとで返すなら貸してくれるのか。とにかくわたしたちには運動資金が一銭もないので何とかしてほしい」と要望したが、物別れに終わった。